

**【九州・沖縄地銀連携協定】**

# **Q-BASSの活動についてのご紹介**



(愛称) Q-BASS 読み方：キューベース

Kyusyu-Okinawa-Banking Alliance Semiconductor Solutions

2025年1月22日

# ふくおかフィナンシャルグループの概要

■ 九州を営業基盤とし、デジタル（みんなの銀行）で全国に展開



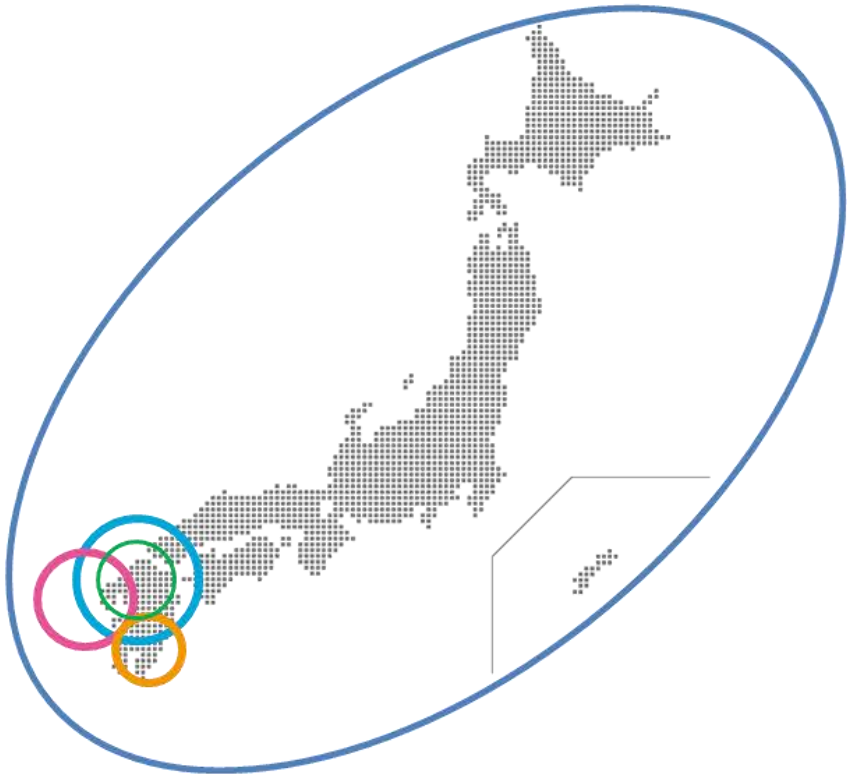
福岡銀行 熊本銀行 十八親和銀行 福岡中央銀行 III みんなの銀行

2024.3月時点

|       |          |
|-------|----------|
| 設立    | 2007年4月  |
| 従業員   | 7,995人   |
| 資本金   | 1,247億円  |
| 総資産   | 32.6兆円   |
| 預金    | 21.6兆円   |
| 貸出金   | 18.5兆円   |
| 発行体格付 | AA-〔安定的〕 |

|                                    |                                      |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| DX銘柄<br>2023選定                     | DX注目企業<br>2024選定                     |
| DX銘柄2023<br>Digital Transformation | DX注目企業2024<br>Digital Transformation |
| 拠点数                                |                                      |
| 国内453店舗                            |                                      |
| 海外8事務所                             |                                      |

R & I（2024.10月時点）

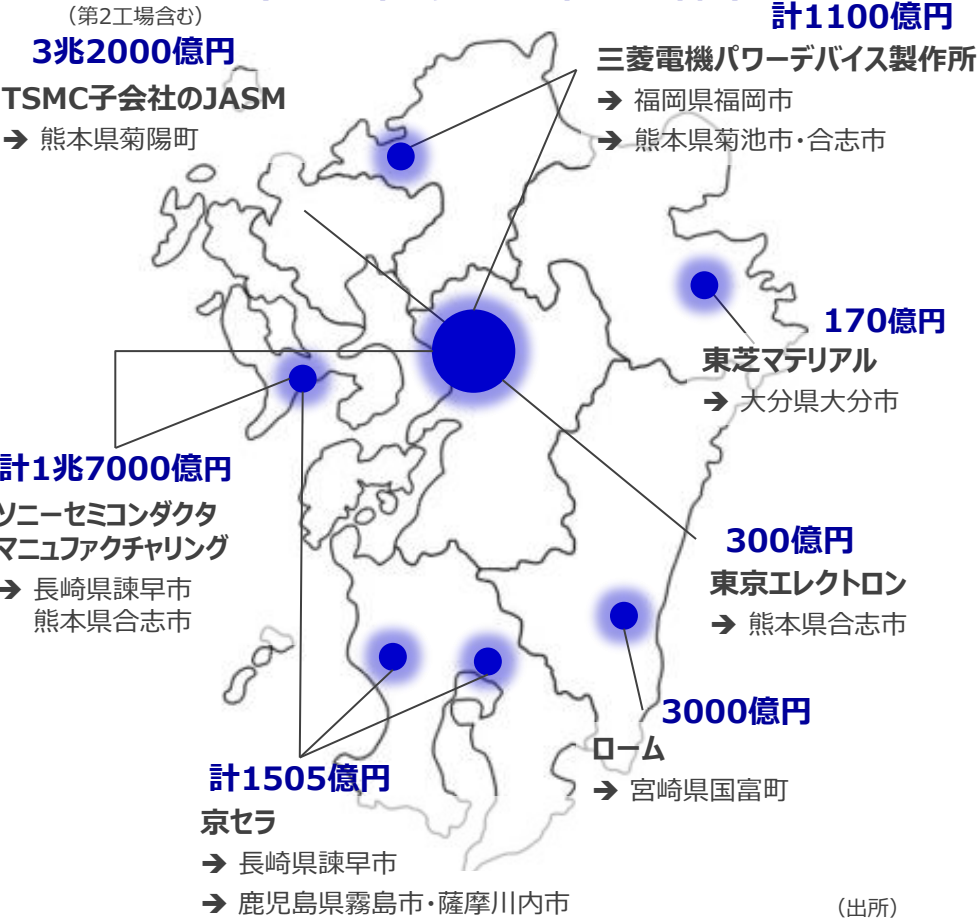


■ 九州では大規模な半導体設備投資が相次いでおり、10年間の経済波及効果は約23兆円と推計

〈主な半導体設備投資計画〉

総額6.2兆円

(2021年から2030年の10年間)



〈九州・沖縄における10年間の経済波及効果〉

|                   | 設備投資 | 生産活動 | 合計   |
|-------------------|------|------|------|
| 最終需要              | 6.2  | 7.9  | 14.1 |
| 直接効果              | 4.7  | 7.8  | 12.5 |
| 1次間接効果            | 2.2  | 3.9  | 6.1  |
| 2次間接効果            | 1.5  | 2.9  | 4.4  |
| 経済波及効果<br>(生産誘発額) | 8.4  | 14.6 | 23.0 |

- ➔ 10年間（2021年～2030年）の投資総額は6.2兆円、生産額は7.9兆円と推計
- ➔ 関連する財・サービスの生産（1次間接効果）、消費活動（2次間接効果）を含めた経済波及効果（生産誘発額）は23.0兆円

(出所)  
九州経済産業局および  
九州経済調査協会資料より作成

# 九州・沖縄の強みと可能性

■ 九州・沖縄は多くの強みを持ち、今後の更なる成長が期待できる魅力的なマーケットである

## アジアの玄関口 充実したインフラ

- アジア各国との距離が近く、物流や人の移動において非常に有利（アジアの物流拠点）
- 新幹線・高速道路・港湾施設等、交通インフラ・ネットワークが充実

## 自動車・半導体

- 自動車関連産業を中心とした製造業が盛ん（完成車メーカー4社が立地）
- 半導体関連企業も1000社超が集積

## 豊かな自然資本

- 太陽光や風力等の再生可能エネルギー導入の先進地域
- 温暖な気候と豊かな自然を活かして、農業や観光業が盛ん

## 人材・教育

- 多くの優れた大学や研究機関が立地し、高度な知識や技術を持つ人材を輩出
- スタートアップ企業が集まる産業創出の起点

**多くの強みを掛け合わせることで  
更なる成長の可能性**

# 九州・沖縄地銀連携協定（愛称：Q-BASS）の立ち上げ

---

- 2024.1月、九州・沖縄の第1地銀11行で「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて連携協定を締結（24.5月、山口・北九州が加入し13行体制へ）



（愛称）Q-BASS 読み方：キューベース

Kyusyu-Okinawa-Banking Alliance Semiconductor Solutions

# Q-BASSの概要

- 13行は普段はライバル行であるが、**まずは九州・沖縄の「経済全体のパイを大きくする」ことを目指し、九州・沖縄経済の持続的な成長に貢献。結果として、各行の収益増加に繋げていく方針**

## 連携行 (13行)

(幹事行)

**福岡銀行、肥後銀行、西日本シティ銀行**

(参加行)

**大分銀行、沖縄銀行、鹿児島銀行、北九州銀行、佐賀銀行  
十八親和銀行、筑邦銀行、宮崎銀行、琉球銀行、山口銀行**

## 目的

**「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、九州・沖縄の各地銀が連携し、シナジー効果を発揮することで、半導体関連産業集積の促進や、半導体を起点とする他産業および社会インフラの強化を図り、九州・沖縄経済の更なる成長を目指す**



- 2024.1.16、地方銀行会館（@東京）での記者会見の様子
- 11行頭取が出席

# 連携の内容

■「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、次に掲げる事項について連携・協力する

## 連携内容

### ① サプライチェーン強靱化に向けた取り組みに関すること

- ・ 広範な金融サービス提供に向けた“共同ファイナンス”や“ファンド”の組成
- ・ 地場半導体関連企業のサプライチェーン参入支援（合同商談会の開催など）
- ・ 半導体関連企業の誘致
- ・ 生産性および持続可能性向上に資するDX支援、M&A支援

### ② サステナビリティ推進に関すること

- ・ SDGsの普及啓発（各種セミナーの共同開催など）
- ・ カーボンニュートラルの推進
- ・ 各行が所有するサステナビリティに関する商品・サービスの相互利用

### ③ 九州・沖縄の活性化に関すること

- ・ 半導体を軸とするユーザー産業創出支援
- ・ 持続可能な街づくりと地域産業活性化についての協業
- ・ 海外とのネットワークを活用した事業展開支援に関する連携

### ④ 九州・沖縄での業界調査および分析に関すること

- ・ マーケット調査（半導体業界動向や技術トレンド等）及び九州・沖縄への影響調査・分析など

# 運営の体制

## 事務局会議



分科会立ち上げ（現時点では3分科会のみ。今後増えていく予定）

## ファイナンスPJ

### ■ 幹事行：福岡、肥後、西日本シティ

- 情報共有や共同プロジェクト組成の検討を行い、全体方針の策定と意思決定を行う
- 事務局会議で具体化したプロジェクトは分科会として立ち上げ

### ■ リーダー行：西日本シティ、副リーダー：福岡

- 単独行では対応が難しい大型案件を、連携行でシ団を組成し、融資実行することを目的として立ち上げ
- 融資目利き力向上のため、13行審査セクション共同勉強会の開催なども企画

## サプライチェーン 強靱化PJ

### ■ リーダー行：福岡、副リーダー：肥後

- 13行共同商談会を開催予定。九経調やSIIQと連携し、実効性のある商談会を検討
- サプライチェーンポジション別に事業者の課題・ニーズを整理し、共同でソリューションメニューの検討も行っていく

## サステナ推進PJ

### ■ リーダー行：肥後、副リーダー：福岡

- 各行や所有するサステナビリティ分野の商品やサービスなどの相互利用促進を検討
- サステナビリティ推進機運の醸成のため、13行行員向け共同勉強会の開催や、13行取引先向け共同セミナーの開催などを計画

## 【九州・沖縄地銀連携協定：愛称Q-BASS】

### 九州大学、台湾・陽明交通大学および九州経済連合会との「半導体・日台協業PJ」への参画について

株式会社福岡銀行（頭取 五島 久）は、「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州・沖縄地銀連携協定（2024.1月締結）に参加する地方銀行他12行とともに、九州大学と台湾・陽明交通大学および九州経済連合会との「半導体・日台協業プロジェクト」に参画いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

#### 1. 「半導体・日台協業プロジェクト」の概要

2023年9月、九州大学と台湾の陽明交通大学は、人材交流や共同研究開発に係る覚書（MOU）を締結し、半導体分野においては、“産官学金連携の枠組みを活用した地域企業の半導体サプライチェーン（供給網）参入”を目標の1つに掲げました。

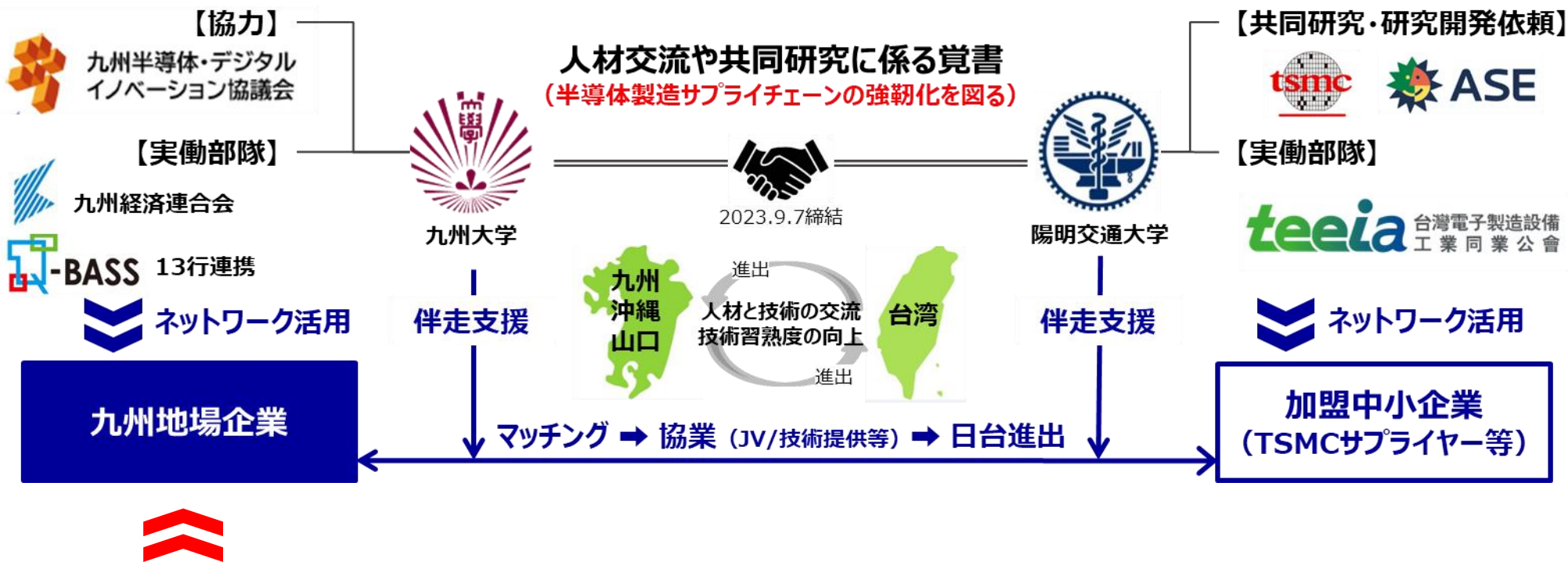
九州においては、熊本県菊陽町に新工場を建設した半導体受託生産の世界最大手、台湾積体電路製造（TSMC）を中心とした半導体サプライチェーンが今後新たに形成されていくものと見られておりますが、**地域の半導体関連企業にとってサプライチェーン参入の壁の高さが課題**となっています。

そのため、九州大学と陽明交通大学は、九州経済連合会や九州半導体・デジタルイノベーション協議会（SIIQ）、九州・沖縄地銀連携協定のネットワークを介し、**地域企業と台湾TSMCサプライヤー企業における人材面と技術面での交流を促進し、地域企業の技術習熟向上の伴走支援を行うことで、地域企業の半導体サプライチェーン参入を目指す**べく本プロジェクトをスタートいたしました。本プロジェクトは、“大学の知識・技術に基づくハンズオン支援”が大きな特徴となっております。

#### 2. 九州・沖縄地銀連携協定の役割

九州・沖縄地銀連携協定は、九州・山口・沖縄を網羅する13行のお取引様ネットワークを活用することで「半導体・日台協業プロジェクト」に参画し、九州大学、陽明交通大学および九州経済連合会と協業することによって、“**地域企業のサプライチェーン参入支援の成功モデル**”を作って参ります。

# プロジェクトスキーム



Q-BASSは、台湾企業との協業を希望する熱意のある地場企業を紹介

